



(撮影者) 大野賀代子

基本理念

愛媛県立今治病院は公的中核病院として、地域の皆様に信頼される良質な医療を提供します。

運営方針

- 医療人としての責任と使命を自覚し、患者様の立場に立った医療を提供します。
- 診療機能の充実と高度化を図り、地域社会の医療ニーズに的確に対応します。
- 医療機関との連携を深めて、地域医療に貢献します。
- チーム医療を推進し、医療安全の確保に努めます。
- 公共性と経済性の確保に努め、経営の健全化を図ります。

Contents

●令和8年 年頭のご挨拶	院長 川上 秀生 … 2
●脳神経外科紹介	脳神経外科 医監部長 瀬野 利太 … 2
●第61回愛媛県立病院学会	…………… 3
●FC今治よりクリスマスプレゼント	…………… 3
●外来医師診察担当表	…………… 4

令和8年 年頭のご挨拶

院長 川上 秀生



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、日頃より県立今治病院の医療活動にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

いま日本の医療は、高齢化の進行や人口減少、医療に携わる人材の不足、物価やエネルギー価格の上昇など、多くの課題に直面しています。当院においても、厳しい経営環境の中、職員が力を合わせ、地域に必要な医療を守り続けるミッションに日々尽力するとともに、将来にわたり皆さまが安心して医療を受けられる体制づくりを進めています。

その大きな取組みの一つが、病院の移転新築事業です。これは単に建物を新しくするというのではなく、救急医療や重い病気への対応、災害時の医療など、公立病院としての大切な役割を、これからも確実に果たしていくための取組みです。

救急医療であれば、現在、当院は軽い症状の救急対応から救急車による受け入れ、脳や心臓の重い病気、急な腹部の病気などに対応しています。さらに、他の医療機関では対応が難しい重症の患者さまや、手術など高度な医療が必要な患者さまを受け入れる役割も担っていますが、地域全体の将来像を考慮しながら、より症状の重い患者さまを中心に診療を行っていくような運用面のシフトなど、幅広い観点から方向性を検討していく必要があると考えています。

また、社会は大きく変化し、従来のようにすべての医療を一つの病院で行うというより、地域の病院や診療所のほか、介護施設がそれぞれの役割を担い、連携を密にしていくことが求められる時代になっています。これが地域医療構想の考え方であり、今後一層、地域における役割分担がはっきりしていくものと思われます。

公立病院の役割は、地域にとって「なくてはならない医療」を守ることです。移転新築後の県立今治病院においても、今治圏域の医療の「最後の砦」として、これまで以上により安全で使いやすい環境を整え、引き続き患者さま一人ひとりに寄り添った医療を提供していくよう、しっかりと取り組んでまいります。

本年も、皆さまが安心して暮らし続けられる地域医療の実現に向け、職員一同努力してまいります。引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

脳神経外科紹介

脳神経外科 医監部長 瀬野 利太



脳神経外科は脳卒中学会の一次脳卒中センター(PSC)にも認定されており、今治圏域の脳神経外科疾患の中核病院として常勤医2人と応援医師3人で診療にあたっています。脳卒中ホットラインを開設し、脳卒中疑いの患者さんは救急隊から医師への直接連絡を行うことにより迅速な対応ができる体制をとっております。当院、済生会今治病院、片木脳神経外科の3病院が交代で365日対応しています。

【当院脳神経外科で扱う主な疾患】

<脳梗塞>

脳血管（主に脳動脈）が詰まって起こります。脳の部位によって機能障害が起こり、麻痺や言語障害、感覚障害など様々な症状を認めます。閉塞した動脈を再開通させることにより脳梗塞完成前であれば症状の回復が期待できます。発症4.5時間以内であればtPAという強力な薬剤を投与し、血栓溶解できることがあります。また、最近ではそれ以上の時間が経過していても、画像所見で回復可能な部位があれば、特殊なカテーテルと血栓回収用のステントを使用して、血栓を取り除く血栓回収療法が有効なことがあります。当院では脳血管内治療専門医が常勤しており、このような治療を迅速に行うことが可能

です。また、脳梗塞の原因となる頸部内頸動脈狭窄症に対しても、ステント留置術や頸動脈内膜剥離術などの治療を行っています。

<脳出血>

多くの場合、高血圧が原因となり脳内の血管が破綻して出血を起こします。出血の部位によって、麻痺や言語障害などの症状を引き起こします。少量の出血であれば手術を行わず薬物療法などを行います。出血量が多い場合は手術によって血種除去を行います。当院では開頭術より侵襲の少ない内視鏡的血種除去術も行っています。

<脳動脈瘤>

脳の血管（動脈）にできたこぶ（動脈瘤）が破裂すると多くの場合、くも膜下出血になります。くも膜下出血後30日の死亡率は45%ともいわれており、破裂した動脈瘤の再破裂を防ぐ処置が必要です。そのためには開頭し、チタン製のクリップで動脈瘤の頸部を挟んで遮断する方法（動脈瘤ネッククリッピング術）と動脈内にカテーテルを挿入し頭蓋内の血管に到達させ、プラチナ製のコイルを詰め、動脈瘤の破裂を防ぐ方法（コイル塞栓術）があります。当院ではどちらの治療も行っていますが、瘤の部位や形状によって、どちらの治療が適切か判断します。また、破れていない瘤（未破裂脳動脈瘤）についても破裂率によって希望される場合は同様の治療を行っています。

<頭部外傷>

転倒や交通事故では多くの場合、頭部を打撲します。少量の頭蓋内出血では経過観察をしますが、急性硬膜下血腫、硬膜外血腫、脳挫傷などで命に係わる場合は手術が必要となることがあります。高齢者に多いものとして慢性硬膜下血腫があり、多くは頭部打撲後数週間たってから脳表に血液が溜まります。この場合は頭蓋骨に小さな穴をあけて、チューブを入れ廃液する手術（穿頭ドレナージ術）を行うことで多くの場合回復します。

<脳腫瘍>

髄膜種や転移性脳腫瘍などの手術を主に行っています。悪性腫瘍に関しては放射線治療装置が当院にはないため、愛媛大学や県立中央病院、済生会今治病院と連携して治療を行っています。

<水頭症>

頭蓋内の脳脊髄液が何らかの原因で貯留する疾患です。認知症のような症状や歩行障害、尿失禁などを起こします。溜まった脳脊髄液を腹部（腹腔）に廃液する管を埋め込む手術（脳室腹腔シャント術）を行います。当院では髄液の流れが障害されている部位によっては、侵襲の少ない神経内視鏡手術を行うこともあります。

地域医療における脳神経外科は、大きな役割を担っています。少ないマンパワーの中でできる限り良質で安心していただける医療を提供できるよう努力していきます。

第61回愛媛県立病院学会

令和7年11月15日（土）愛媛県男女共同参画センターで、第61回愛媛県立病院学会が開催されました。各県立病院から様々な分野の研究発表を行い、当院では放射線部・検査部の職員が受賞されました。また、特別講演として「人工知能診断学の画像診断への臨床応用」をテーマに講演が行われました。



FC今治よりクリスマスプレゼント

令和7年12月24日（水）FC今治を運営する(株)今治・夢スポーツのスタッフより、入院中の子供たちにクリスマスイヴを笑顔で過ごしていただくため、クリスマスプレゼントの贈呈がありました。（対象患者数13名）



外来医師診察担当表

令和8年1月1日現在

※受付時間は平日の午前8時30分から11時まで（土日、祝祭日、年末年始は休診です。）
 なお、診療科の都合により変更・休診になることがあります。

診療科		月	火	水	木	金	備考		
内科	循環器	1診	大下 晃	川上 秀生	大下 晃	川上 秀生	日浅 悠	() 医師は非常勤	
	消化器	2診	中西 征司 (午前)	松田 拓也	山本 瑛哲	中西 征司	吉野 武晃		
	消化器 糖尿病 内分	3診	【消化器】 藤原ひなの	【糖尿病】 原 泰彦	【糖尿病】 原 泰彦	【糖尿病】 原 泰彦			
	血液	5診	谷本 一史	第2週応援医師 渡邊 明人	谷本 一史	谷本 一史	渡邊 明人		
	循環器	6診	上谷 晃由	日浅 悠	(三好 徹) (仁志川知晃)	上谷 晃由	小西 里奈		水曜 三好 Dr. 第2・4週 仁志川 Dr. 第1・3・5週
	循環器				小西 里奈		(日浅 豪)		毎月第4金曜日 弁膜症外来
	脳神経			鴨川 賢二	鴨川 賢二		鴨川 賢二		予約患者、紹介予約制
	呼吸器		(井上 考司)						毎月第2月曜日のみ
	禁煙外来						当番医		禁煙外来 午後のみ予約制
小児科	一般外来 午前	1診	担当医	村尾紀久子	井門未来等	(藤澤 由樹)	(田内 久道)	() 医師は非常勤 学校検診の2次検診は電話で確認後、受診してください。 一般外来（午前）については当直等により変更となることがあります。	
		2診	担当医	担当医	岡本健太郎	手塚 優子	矢野 真啓		
		3診				第1週 (西村 幸士)			
		健診	松田 修	井門未来等	担当医	第1週目のみ休診 担当医	村尾紀久子		
	専門外来 午後 (予約制)	1診	予防接種	【腎臓】 手塚 優子	【新生児・発達】 村尾紀久子	【アレルギー】 第1・4・5週 (西村 幸士)	【内分泌】 第1週 (濱田 淳平)		
2診		【神経・発達】 岡本健太郎	【腎臓】 手塚 優子	【一般】 矢野 真啓	【神経・発達】 岡本健太郎				
健診	【新生児】 松田 修	【一般】 井門未来等		【循環器】 松田 修	【循環器】 松田 修 村尾紀久子				
外科 消化器外科	1診	高月 秀典	井上 仁	伊藤英太郎	垣生 恭佑	渡部 美弥	消化器ストマ外来 月・金午後（完全予約制）		
	2診 午前	不定 (交代制)	垣生 恭佑	井上 仁	高月 秀典	伊藤英太郎			
	3診 午前				渡部 美弥				
整形外科	1診	山本 英広 (午前・午後)	津田 貴史 (午前)	山本 英広 (午前・午後)	津田 貴史 (午前)	松本 雅史 (午前)	紹介患者、予約患者のみ 診察受付時間は10:00まで 投薬の受付時間は11:00まで		
	2診	関谷 大 (午前)	井上 直弥 (午前)	松本 雅史 (午前)					
脳神経外科	1診	瀬野 利太	篠原 朋生	(河野 大介)	瀬野 利太	篠原 朋生	月・水曜午後：手術、火曜午後：血管撮影 診察午前のみ（受付11:00まで）		
心臓血管外科						(泉谷 裕則)	() 医師は非常勤 毎月第2金曜日のみ		
皮膚科		村上 信司	村上 信司	村上 信司	村上 信司	村上 信司	診察午前のみ（受付10:30まで） 形成外科外来はなくなりました		
泌尿器科	1診		沢田雄一郎	濱田 斉	濱田 斉		尿路ストマ外来 月・金午前（完全予約制） 愛大応援 Dr. 火曜 第1・3・5週 西村 謙一 医師 第2・4週 信森 祥太 医師 松山赤十字病院応援 Dr. 水曜 第1・3・5週 野田 輝乙 医師 第2・4週 矢野 明 医師		
	2診	沢田雄一郎	愛大医師	松山赤十字 医師		沢田雄一郎			
産婦人科	午前	1診	大柴 翼 (初診)	愛大医師	堀 玲子 (妊婦健診)	井上 翔太 (初診)	堀 玲子 (初診)	初診診察受付10:00まで 愛大応援 Dr. 火曜日 第1・3・5週 伊藤 恭 医師 第2・4週 中橋 一嘉 医師	
		2診	堀 玲子 (再診)	濱田 洋子 (再診)	井上 翔太 (再診)	堀 玲子 (再診)	濱田 洋子 (再診)		
		3診		堀 玲子 井上 翔太		大柴 翼 (再診)			
	午後	1診	井上 翔太 (妊婦健診)		大柴 翼 (妊婦健診)		濱田 洋子 (妊婦健診)		
		2診	堀 玲子 (再診)		井上 翔太 (再診)		大柴 翼 (再診)		
		3診	大柴 翼 (ワクチン外来)						
耳鼻咽喉科	1診	浅井 真紀	高須賀大暢	愛大医師	浅井 真紀 高須賀大暢	高須賀大暢			
	2診	高須賀大暢	浅井 真紀		愛大医師	浅井 真紀			
放射線科		細川 貴晶	武田 英樹	宇田晃一郎	武田 英樹	細川 貴晶			
麻酔科			藤本麻友子		飛田 文				